

3年生 総合的な学習「福祉」

10月1日（金）総合的な学習の時間に「高齢者疑似体験・車いす体験」をしました。講師として来校してくださったのは、三菱電機ライフサービス株式会社多機能ホームの方々。学習課題は、『高齢者疑似体験・車いす体験を通して、高齢者や介護する人の苦勞を知ろう。』でした。

高齢者疑似体験



手足にはサポーターや重りを付け、視界が白っぽく見える眼鏡や耳栓も付けました。重いリュックは背中ではなく胸の前に掛けました。高齢者の方々は、自分たちと比べると、動きにくく見えにくく聞こえにくい不自由な生活をしていることが分かりました。



豆つかみに挑戦です。たった3粒の大豆を隣の皿に移すのに、思った以上に時間がかかります。

「あ〜っ〜」「え〜?!」などの声が、思わず漏れてしまうほどでした。

車いす体験



高齢者役と介護する人役の両方を、体験しました。

「ちょっとした段差であっても、車輪を持ち上げるのに、たくさんの力が必要でした。」

「乗っているときは、車いすが前方に傾くと、落ちそうになり怖かったです。」

「乗っている人に怖い思いをさせないよう、たくさん声をかけてあげることの大切さが、よく分かりました。」